

(十一月のことば)

宗家

初冬の小春日和のような

明るく声で

思いきり

挨拶しよう

十月の終わりは実に良い天気だった。夜は満月が観られた。今年は何でコロナで職業によって程度の違いはあれ、死活問題にまで及んで事は深刻である。また近年の天候の荒れ方には甚大な被害が重なり、自然の地球規模の変化が心配される。

さて、日本列島は南北に長いのでひと口には言えないが、初冬の頃には小春日和が訪れる。

風和らいで、空晴れわたリ、暖かく何とも気持ちが良い。

この小春日和の様に心も明るく晴れやかになりたいものである。心から明るい気分になって、電話でもお顔をあわせても

「おはようございます」「今日はノーマルと、元気に挨拶してみたい。心の奥さんと関係なく、自分が明るくなり、相手にも暖かさ、明るさが伝わるかも知れない。そんな人が実際にいるようだ。」

コロナで大変な年だ。カラ元気でもいい。人と元気に挨拶を交わしたい。

教室は明るく元気に挨拶を交わして入りたいものだ。

(令和二年十一月)